

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年9月18日

新型コロナ感染による心筋炎：米国2020年3月～21年1月のデータ

## 【松崎雑感】

新型コロナに感染すると、特に若い人々に心筋炎が結構発生するようです。以前もコロナ情報で示しましたが、新型コロナワクチンでも若い人々を中心に心筋炎が発症しますが、新型コロナに感染した場合よりも、その比率はずっと小さいようです。

したがって、新型コロナ感染で心筋炎となるリスクを大きく減らすためにも、ワクチン接種が必要と考えます。

# 新型コロナウイルス感染による心筋炎：米国2020年3月～21年1月のデータ

Boehmer TK, Kompaniyets L, Lavery AM, Hsu J, Ko JY, Yusuf H, Romano SD, Gundlapalli AV, Oster ME, Harris AM. **Association Between COVID-19 and Myocarditis Using Hospital-Based Administrative Data – United States, March 2020–January 2021. MMWR Morb Mortal Wkly Rep.** 2021 Sep 3;70(35):1228–1232. doi: 10.15585/mmwr.mm7035e5. PMID: 34473684.

ウイルス感染は心筋炎を発生させ、心不全や突然死をもたらすことがある。

ウイルス性心筋炎は全米900か所以上の病院入院患者から報告されており、2020年には前年の42.3%増となっている。

この増加は新型コロナパンデミックと軌を一にして発生しており、入院した新型コロナウイルス感染者の0.146%に心筋炎が合併している。

新型コロナウイルスによる心筋炎は、新型コロナウイルス以外のウイルスによる心筋炎の15.7倍の発生率となっている。

リスク比は16～39才層で7.0だが、16歳未満あるいは75才以上層では30倍以上となっている。

新型コロナウイルス感染は心筋炎を合併しやすく、年齢によるリスクの差が著明である。